救　命　処　置

○救命処置の流れ（心肺蘇生とＡＥＤの使用）

処置　観察

①　反応なし

②大声で叫び応援を呼ぶ

１１９番通報・ＡＥＤ依頼
通信指令員の指示に従う

③呼吸を見る

普段どおりの
呼吸あり

気道確保
様子を見ながら
応援・救急隊を待つ
回復体位を考慮する

④呼吸なし

または死戦期呼吸

⑤胸骨圧迫

・強く（成人は少なくとも５㎝・小児は胸の厚さの１／３）
・速く（１００～１２０回／分）
・絶え間なく（中断を最小にする）
・圧迫解除は胸がしっかり戻るまで

⑥人工呼吸の技術と意思があれば
胸骨圧迫 30 回と
人工呼吸 2 回の組み合わせ

⑦ＡＥＤ装着
・電源を入れる
・電極パッドを装着する

⑧心電図の解析
電気ショックは必要か?

必要あり

⑨電気ショック
⑩その後ただちに胸骨圧迫から
心肺蘇生を再開

必要なし

⑩ただちに胸骨圧迫から
心肺蘇生を再開

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に普段どおりの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける